

## 令和2年度 福井県立大野高等学校全日制 学校関係者評価書

(問) (1) 学校評価書の成果と課題は適切ですか。 (2) 成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策は適切ですか。 (3) その他	
(意見をお聞きした方) 令和2年度福井県立大野高等学校「学校関係者評価委員」 ・PTA役員4人(会長1人、副会長3人) ・地域住民代表4人	
<b>意見欄</b>	
<b>1</b> 教育課程 学習指導	・生徒の家庭学習内容充実度の肯定的評価60%以上はどの基準で計っているのか。→アンケートの肯定的項目1、2の結果を総合的に判断している。 ・公開授業で実施クラスを限定されると見学できない。→公開授業週間はどのクラスの授業でも見学できるように検討していきたい。
<b>2</b> 生徒指導	・容儀指導に積極的に取り組んだ教職員の割合が低下したのはなぜか。→大野高校生の規範意識が高く、違反者が多くないため、容儀指導をする場面が減少した。容儀指導について、教職員の間で共通理解を図るように取り組む必要がある。
<b>3</b> 進路指導	・オープンキャンパスの情報を保護者にも伝えてほしい。また、Web開催のオープンキャンパスでも生徒が個人で対応するのではなく、学校主導で行っていただきたい。→オープンキャンパスの情報については、生徒だけでなく保護者にも伝わるように工夫したい。また、Web開催のオープンキャンパスは今後増えていくと思われるので、学校主導で行えるように検討していきたい。 ・土曜セミナーは効果があるのか。→授業での実施が難しい模試対策等の演習が行えるので、成果はあると思うが、さらに内容については検討していきたい。
<b>4</b> 保健管理	・相談したいことがあったら誰かに悩みを相談できそうだと答えた生徒は93%で、前年度より割合が増加し、その中でも十分にできそうである生徒の割合が44%に上がった。相談相手に関してもっと対象者を聞いてもよいか。→過去からのアンケートの継続もあり、毎年この質問形式を取っている。相談できる相手が誰かいるかどうかが大切と考えた質問である。相談の内容や状況によって、相談相手も変わることもあり、相談相手が特定しにくい場合が考えられたり、また、カウンセラーなど専門機関を依頼したりするケースもありうる。別のアンケートなどで相談相手を聞くことはあるかもしれないが、必要性なども考慮して、検討してみたい。
<b>5</b> 図書指導 保護者との 連携	・PTA活動の内容およびその情報提供についての評価が増加しているのはなぜか。→大高メールの積極的配信とホームページの週1回以上の更新による成果と思われる。 ・ホームページの更新が週1回以上更新されていることを知らない保護者もいる。もっと宣伝すべきである。→PTA総会や保護者懇談会等の行事を利用してホームページ更新の宣伝に努めたい。
<b>全体(総括)</b>	・今年度実施したD-コンパスをさらに発展させたD-タイムを導入し、生徒の自主的な探究活動を進めるとともに、教員の意識改革にも努めたい。 ・「私が未来の市長」プロジェクト等の探究学習を単発的なものではなく、次年度につなげて統合していきたい。 ・卒業生が誇れるような学校づくりを目指して、生徒一人一人を大切にしていきながら、本校の魅力について、教員・生徒共にしっかりと現状を見直していきたい。
(学校関係者評価を踏まえた今後について) ・委員会での御指摘をふまえ「学校評価書」および「学校関係者評価書」を4月中旬までにホームページにアップする。 ・各分掌においてさらに検討し、次年度のスクールプランに反映させ、具体的な取組として実現できるようにしていきたい。 ・教育活動全般において、生徒・保護者および地域からさらに信頼される学校づくりを目指し、教職員一丸となって取り組みたい。	